

For Immediate Release

フード・イノベーターズ・ホールディングス、好調な主要事業の成長により 2026 年度上半期に黒字転換、0.2 百万シンガポールドルの純利益を計上

- 2026 年度上半期の売上高は、前年同期比（以下「yoy」）10.5%増の 23.8 百万シンガポールドルに達しました。これは主に、サブリースポートフォリオの拡大による日本のサブリース事業（+17.8%）およびマレーシアでのレストラン事業拡大（+15.5%）からの貢献度が高まったことによるものです。
- 売上総利益は前年同期比 4.7%増の 3.8 百万シンガポールドルでしたが、売上総利益率は 0.8 パーセントポイント低下しました。これは主に、期間中の 5 店舗の新規レストラン開店に伴う初期運営費用によるものです。
- 当グループは、主要市場全体で増加する観光の恩恵を受け続けており、日本の活気ある飲食（F&B）セクターでサブリース物件ポートフォリオを拡大する一方、質の高い日本の食コンCEPTの導入を通じて東南アジアでレストラン事業を拡大しています。

シンガポール、2025 年 10 月 15 日 – アジア全域で日本食に焦点を当てるフード・イノベーターズ・ホールディングス（以下「FIH」、またはその子会社と合わせて「当グループ」）は本日、2025 年 8 月 31 日に終了した 6 ヶ月間（以下「2026 年度上半期」）の決算を発表しました。

2026 年度上半期ハイライト

主要財務ハイライト (未監査)	2026 年度上半期 (千シンガポールドル)	2025 年度上半期 (千シンガポールドル)	増減率 (%)
売上高	23,844	21,570	10.5
売上総利益	3,760	3,591	4.7
売上総利益率	15.8%	16.6%	(0.8 ppts ¹)
その他の収益	496	149	232.9
当期純利益／(損失)	206	(1,044)	n.m. ²

8

- ppts はパーセントポイントを示します
- n.m.は有意な比較ではないことを示します

当レビュー期間において、当グループの売上高は前年同期比 10.5%増の 23.8 百万シンガポールドルに達しました。これは、レストラン・リースおよびサブリース事業（以下「RLSB」）と食品小売事業（以下「FRB」）の双方における力強い成長によるものです。

具体的には、RLSB セグメントの売上高は、当グループのサブリース物件ポートフォリオの着実な拡大が主な要因となり、前年同期比 17.8%増の 10.4 百万シンガポールドルとなりました。

加えて、FRB セグメントは前年同期比 5.5%の成長を記録しました。これは主にマレーシアでの好調な業績によるもので、同国での売上高は前年同期比 15.5%増の 4.5 百万シンガポールドルに達しました。

売上総利益は前年同期比 4.7%増の 3.8 百万シンガポールドルでしたが、売上総利益率は 0.8 パーセントポイント低下しました。これは主に、期間中の 5 店舗の新規レストラン開店に伴う初期運営費用および開業費用が発生したことによるものです。

その他の収益は、2025 年度上半期の 0.1 百万シンガポールドルから 2026 年度上半期には 0.5 百万シンガポールドルに増加しました。これは主に、新規株式公開(IPO)関連の専門家報酬に関する 0.3 百万シンガポールドルの政府助成金を受領したことによるものです。

2026 年度上半期におけるこれらの顕著な成長が総合的に寄与し、当グループは黒字に転換、前期の 1.0 百万シンガポールドルの純損失から反転し、0.2 百万シンガポールドルの純利益を記録しました。

市場見通しと事業戦略

日本、シンガポール、マレーシアは引き続き力強い飲食(F&B)セクターの成長を示しており、日本の市場は 2025 年から 2033 年にかけて年平均成長率(CAGR)約 10.29%で、マレーシアは 2023 年から 2027 年にかけて約 7.95%で、シンガポールは 2025 年から 2030 年にかけて約 18.7%で拡大すると予測されています。この成長は、主にインバウンド観光および観光客消費の着実な増加によって支えられる見込みです。

活気ある F&B 市場を最大限に活用するため、当グループは独自のポジショニングを活かして差別化と競争力を維持することに注力しています。これには、日本における強力なネットワークとブランドの信頼性を活用してサブリース物件ポートフォリオを拡大し、経常的な収益基盤を強化することが含まれます。同時に、当グループは RLSB セグメントから得られる深い市場洞察を応用して、一等地により革新的な飲食コンセプトを導入し、ターゲットとする食品小売セグメント内で安定した顧客トラフィックを創出することを目指しています。

アジア全域でのレストラン事業の拡大は、当グループにとって引き続き主要な成長優先事項です。当グループは最近、従業員がリーダーシップを発揮し、FIH のポートフォリオ内で成功しているレストランブランドを地域全体で拡大することを可能にする、新しいチェーンストア展開戦略を導入しました。このイニシアチブの下、当グループは新規出店に関する投資コストと利益を当該従業員と分担し、当グループの設備投資要件を低減させることで資本効率を最適化しながら、地域

展開を促進します。この新しいビジネスモデルは、マレーシアのクアラルンプールに新規開店した「KANBE Ramen」レストランで実施されています。

今後の見通しとして、当グループは引き続き慎重な拡大アプローチを採用しつつ、2つのユニークで補完的な事業セグメント間の相乗効果(シナジー)を活用して、持続可能な成長を達成していきます。

最高経営責任者(CEO)の久保田恭章氏は次のようにコメントしています。「IPO 準備を終え、経営陣が再び事業成長に集中したことで、当グループは両事業セグメントにおいて大きな進展を遂げ、黒字転換と持続的な成長軌道を支えることができました。短期的には競争が激しい状況が続きますが、我々のユニークで相乗効果のあるビジネスモデルは、進化する消費者の嗜好に応え、市場内で我々を差別化する革新的な食体験を導入する上で、当グループを有利な立場に置くと確信しています。我々は引き続き、アジア全域で質の高い日本のブランドを厳選し、本物の日本料理と食文化をより多くの人々に届けることに尽力してまいります。」

-- 以上 --

フード・イノベーターズ・ホールディングス(FIH)について 2019 年 11 月 14 日にシンガポール共和国で設立された FIH は、主に(a)日本のレストラン事業における不動産とテナントのマッチングに焦点を当てたレストラン・リースおよびサブリース事業、ならびに(b)日本、シンガポール、マレーシアでの食品小売事業に従事しています。

レストラン・リースおよびサブリース事業を通じて得た日本の F&B 業界に関する広範な知識を活かし、当グループは質の高い伝統的な日本料理および和食にヒントを得たヨーロッパ料理のキュレーションに重点を置く、経験豊富なレストラン運営会社として発展してきました。

さらに、長年の経験により、既存および見込みのレストランテナントに対してワンストップのコンサルティングサービスを提供することが可能です。

本発表日現在、当グループは日本で合計 228 のサブリース物件を管理しています。

また、当グループのブランドポートフォリオには 31 店舗のレストランが登録されており、その内訳は日本 14 店舗、シンガポール 9 店舗、マレーシア 8 店舗です。

詳細については、FIH のウェブサイト <https://fih.sg/> をご覧ください。